

5月28日 “社協さんを学ぼう！” 開催しました。

京都市社会福祉協議会より4名の職員の方にお越し頂き、組合員、地域理事、ブロックのエリア担当職員合わせ、計45名の参加となりました。

まず、DVDで市社協の事業内容や学区社協の活動の様子を視聴。その後吉川部長より、事例を踏まえながら社協の仕組みなどを説明して頂きました。（詳細はニュース3号に掲載）



社協の取り組みは、「地域の事は地域住民で」という方針のもと、地域政策の実践は主に学区社協が行います。学区社協のボランティアさんによる協力は必要不可欠です。活動内容も「喫茶型サロン」「子育てサロン」「防災&福祉マップ作成と見守り活動」「よろず相談」「子供たちの登下校時の見守り」など、共通の課題活動もある中、地域により特徴のある取り組みもみられます。

後半4グループに分かれての交流会では、社協職員を1名ずつ交えて「社協さんの活動にどうしても参加できるのかな」…日頃感じている事や知りたい事等、社協さんを中心に話が盛り上がっていました。



最後に渡辺理事長のあいさつ。その中で社協のコミュニティ・ソーシャルワーカーを主人公にしたNHKの番組「サイレント・プア」を話題に。「タイトル中のプアは何とも寂しい言葉だと感じたが、もっと悲しい現実があり、社会としての機能が成り立たない厳しい現状がある」の言葉は、他人事でない問題として一石を投じるものでした。

今回の企画、“それぞれの地域の区社協と情報交流することから始めてみようか” そんな雰囲気になりました。生協の組合員として“何がしたいか、何が出来るか”考え合うきっかけになったのではないのでしょうか。次回「つながりさがしのワークショップ」、さらに実りのあるものになりそうです。

参加者の感想より



「社協さんがこんな活動をされている事がわかり、これからエリア会の活動でも“社協さん”とつながって、地域とのつながりを大切にしていきたい」

「個人対個人で繋がっていけたら、大切なことだと思います。生協活動⇔社協でつながりがひろがっていくと良いなあ。課題点が少し見えたかな」

「知っているようで知らなかった社協さんについて知る事が出来ました。社協さんから現状を教えて頂き、少し方向性が見えた気がします」

「社協さんの事業への理解が大枠でできたと思います。福祉はいろんなところでヒト・モノ・場づくりが重要でネットワークづくりの大切さを学んだと思います。なかなか社協さんのお話を聴く機会がないので参加して良かったです！！(エリア会で企画したが都合で企画が流れた)→是非、再度企画したいと思います。サロンをしたいと願っているが、なかなか行動に移せないでいます。お話を聴いて、グループで話して…一歩を踏み出せないでいる私に勇気をもらいました。」

「社協さん、京都生協共に資源を整理して情報を持ち寄り横のつながりで地域を支えられたら一番良いな」

「何かしたい、何が出来るか…社協とつながること、次の行動へ移せるステップになったかも」



— こんなまちにしたい♡ —

発見しよう！

私のまわりのいろんなつながり

ワークショップ開催

三回講座

参加者大募集

第1回目 7月3日(木)

10時半～12時半 せいきょう会館4F

つながりさがしのワークショップ

私の住んでる町—

誰もがにこにこしてたらいいな…。 ご近所さんと仲良くなれるといいな…。

子どもが外で元気に遊び回れる町だったらいいな…。

など、まずみなさんの思いを気軽に話し合ってみませんか？

日生協からファシリテーターを招いて、私たちの〇〇だったらいいなあの思いや願いを序立てて整理しながら実現へと導くワークショップです。

三回にわたって深めていきますが、お休みの場合はサポートいたしますので、お気軽にお申し込みください。

*ファシリテーターは調査活動の企画書などのアドバイスなど、全般にわたってサポートします。

第2回 11月13日(木)

次のステップに向けて(仮)

第3回 3月9日(月)
(2015年)

見つけたつながりをみんなで楽しもう

10時半～12時半 せいきょう会館にて

申込み・問い合わせ (075) 465-6882 安永まで

